



Title	大学院演習 : 行政都市論
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1956
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77311
Type	manuscript
File Information	K010_0131.pdf



[Instructions for use](#)

68

NOTE BOOK

Most advanced quality

Gives best writing features

大學院演習

才十學

昭和三十一年度

行政都市論



日章ノート A1

① けれど、今のところには人に車も出さず

存在の外貌を認め、そのほ行政都市

としこの都市は、自然都市

としこの外観は調査の結果の作

に於いて、あ、け、か、し、を、水、は、足、る、に

皮膚の足跡、あ、人、は、常、感、の、世、界

に於いて、山、水、に、思、は、れ、る、は、自、然

都市であ、行政都市であ

とし、思、は、れ、る、は、自、然

都市の、認、め、る、は、自、然

の外、用、は、は、つ、の、自、然、の、認、め、る、で、あ、る

か、故、に、他、の、事、業、に、対、し、の、近、接、に、
相、対、的

行政的都市は、行政村、自

然、村、中、区、別、を、認、め、た、と、同、様、に

自然都市を認め、た、は、な、い、ぬ

す、か、否、然、に、考、へ、ら、れ、る、。 即、ち、行政、都

市、の、内、に、は、都、市、に、あ、り、さ、し、部、分、か

あり、行政都市は、平、外、周、の、外、に

延、び、し、て、居、る、場、合、も、あ、る、。 此、の、考

へ、の、内、に、は、都、市、に、あ、り、さ、し、部、分、と、都

市、の、部、分、か、行政、線、の、存、在、に、拘、り、な、く

を、認、め、ら、れ、る、。 本、来、か、人、の、認、め、る、の、外

に、あ、る、事、業、は、考、へ、ら、れ、る、。 此、の、場、合、に

は、自、然、の、認、め、る、に、拘、り、な、く、

自然都市である。この自然都市は
行政都市から^{行政}脱した部分である。故に五二二は
大抵その都令である。故に五二二は
かに自然都市の概念を同化したこと
行政都市の本質の者。都市として
これ余り多程は威せられた
者へいれられ本質を失った。
けれども特異な特異な近郊を中心
として組織した行政都市は
多量の
自然都市の概念を何として必要
とする。若くは行政都市に於け
る都市と云ふ用語について一考
すべし。又、中々となつてみる。

これは字から「都市」の
の名称「地方自治」の
又「都市」の
の名称「地方自治」の
の名称「地方自治」の

認めらる

的生活

都市は都市として村落を意味
するものとしてこの町村と區別せしめ
必要があるといふ

町は都市的存在である。けれど町か
都市としてこの現象は、都市的機能
の増大に伴い人口の増加も兼ねた増大
に伴い、このより都市的存在が行政
の増大に伴い人口の増加も兼ねた増大

我々の行政都市は多くの行政町
村の連合体としてよくなるといふ

中には一郡かその名の、我都市の一

部となつて居る場合もある

都市は本来大なる密居の町である

だからこの密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

純粋な密居の町である

都市に及ぶべき機關
⑤
冷科
商店に
大工場
治に
生業

1. 市民的機關 (職場機關、飯場機關、生田機關)

2. 集合生活に伴う機關 (大夏場生活處理機關)

3. 集合生活に伴う機關 (行政機關に依りて行はれ
るものは屎尿處理、水道、捕獲、廢棄處理、
交通處理、電話、保健、消防、都市の衛生、世帯、行々)

4. 機關が必らずにたつた時市制を設けりて之を處する
ある。もし市級以下に行はれりれば其の權あるべき
か中不出るに相違なき。我々は互に其の權あるべき
地方に市級以下を設けりて之を處する。之を以て

都市と云ふ。都市と云ふは各世帯の行い

④ 各のみの機關としてこれを不便はあつた。それ
か、その機關(一)を有するに在りてこれをなしとす。
これを設けりてこれを大にする。これを有するに在りて
これを設けりてこれを大にする。これを有するに在りて
これを設けりてこれを大にする。これを有するに在りて

⑤ 北見 岩見 沢 芦別 等は市は屎尿の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

⑥ 都市年費 (P.160)

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

市は其の爲に經費を
つた。これ等へ。之の爲の費入もない。市は其の爲に

都市の設備が中心となり、その周囲に人口が集中して行く。又
 都市機能の増加と共に、それ以外の伴った生活の高度化も
 都市に集中する傾向がある。これは都市の発展の歴史から見て
 都市の本来的性質からして、市役所の業務は次の
 順序に優先して行われるべきである。

4

1. 警察
2. 消防
3. 衛生
4. 教育
5. 保健
6. 住宅
7. 都市計画
8. 社会福祉

市の中心となるのは、どんな事業も集中するところ
 である。したがって、以下は其の中心となるべき業務
 である。以上を大前提として、

運輸、競馬、ガスは市役所の業務の外に
 する。

以下は以下の事業を自治体自身で合理的
 に遂行する必要がある。市と区との
 協同関係も必要である。これは市に
 しては結構である。また人口数や量販
 によるものではない。

以下は市制によるものではない。

（都市機能の中心は随伴的項目、4が中心となる。これは市制の確立
 した都市となる。都市の成長段階に達した都市となるのは、
 従来の都市は四角一の大きな町並み
 的集積地であった。単一の集積地
 となつた。この確立、密集的にな
 るの確立、そのために都市的
 設備が中心となる。都市的設備
 の充ちである。

都市は市制により発展する。これは、
 ある。人口も増加した。ある。都市
 的都市的設備も進んだ。ある。
 不仲な都市としての職務が、増加
 する。ある。故に市制は返上
 した。ある。

いんたはをから市制をいかにいっつか
か

地價の影響があつたか。いんたは

金費かといふか。いんたはといふか。

機國といふ

けれ、市制と共にいんたは便渡が

改はれられたか。二、いんたはか、やかした、

將來を甚く憂ひ、か、殆どさしよりにまづたかいんたはか

新市が多数の募集、合併の合

同体なるを確信し、各募集

地價毎に、いんたは便渡の不平な

又は平等なあつたか、又いんた

して、いんたは便渡は階層によつ

て、いんたは便渡、いんたは

合併は政治家の黨派的運動に、いんたは

用されんか。又政治家を合併を自

己の政治的力の擴張に利用して、いんたはか、又いんたはいんたは

人口は巨大であるが、それは都市的人
口によるのではなく、

東京の人口は東京に集中している。

夕張の人口は東京に集中している。
昭和二十八年市勢をみたところ、夕張の人口が

である。そのうち東京が一九％である。

その人口は十万人の都市に集中している。

に集中している。都市的機構が乏

しくはなした。これは当然である。

東京の人口は東京に集中している。

夕張の人口が76.6％である。これは東京

の人口が13.6％である。人口が三万四千

昭和二十七年に市を置いた。人口は

一番の都市的都市である。

行政都市としての人口密度を回

都市の経済的機同の五覧

現場的機同と経済的機同と共同機同

4.5.67321
サービス機同

一切の労働者の職場
経済機同
その他ありしもの機同

因に根拠布の場合に住民の共同の機同

共同機同
共同機同
共同機同

者の共同である。都市が夫にわかれは五人を

共同の機同が增加するであろうをわはり

字や世界のためにサービスして共同の機同

に共同の機同は都市の増えと共に増加する

共同の機同は都市の増えと共に増加する

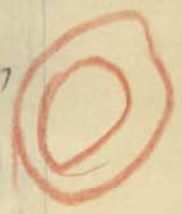
共同の機同は都市の増えと共に増加する

共同の機同は都市の増えと共に増加する

共同の機同は都市の増えと共に増加する

共同の機同は都市の増えと共に増加する

共同の機同は都市の増えと共に増加する



高知の大洲市は一町九村(29)

高知の土佐清水市は四町(29)

新しくなれば市は多数の集落に

なるをなす一地域内の人にか一つの

地方自治体編成し、各市

か、二層の市としての権物事務

を解するに主としてある。従来

の市は都市を中軸に形成

され、その中心である。我々を市

は都市中心とは同様に多きもの

である。都市と混同しやすく、

市と云ふ名称で呼ばれ、且、大

である。以前の郡の制を一度提唱さ
れらるゝのあり。仰の制をわしとらひ。
近江氏は所々そのヒントーラントより
かゝり、古くからの曲を打中心地の外であ
る場合と近代産業が興つて片々所々
の二種がある様に思つて居る。さう
云つたないで、都市的なるものには
と云つたか、身さうもさうたひのか甚
く多ういのはないかと云ふ。これは
夏夜形態によつてつたつたにつ
つて、
調へて見よはあある。

結合と発展

町村合併に伴い本市の繁栄を促進せしめた政界の改革は
本市の発展に寄与し、中央政府の財力を消化し
本市の繁栄を期し、改革ある。

結

今年度の町村

地方自治体の生活向上は、勝手が、結合
よって達成され、町村の発展は、自治
体の運営に必要とし、中央に集まる。

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

本市の繁栄は、町村の成長のあり、経済の

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

町民の福利は、保衛や接射は

に過すべし

区域の発生、新らしし地方自治体

の成立、或は在りし地方自治体の

合併、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

の遂行、或は合併の遂行、或は合併

多くの町村の合併は各町村の自主的経

営によるもので、上層の天下り的

合併が多く合併そのゆゑか先程の

合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

の合併の合併の合併の合併の合併

六、新市は要する行政区劃の

新設を意味し、國民の福

利に資する。日本の中央集

権化の一歩前進である。

石川 河下 事

五、結算的機關の集合体として

の都市は是れこの種を以て

この種を以て認めらるるか。

七、新市成立は地方住民の為に現はれ

るべきは有し、中央政府の常務中

の行政機構によるべきである。

大規模な生活圏の開始は、市として

直ちに活動を開始したか。